

## 調査Ⅱ 家庭科の学習指導に関する調査【教師用】

※調査は、各都道府県市で10名の方をお願いします。(12月末 回答締め切り)

※回答は□の中に番号や○でご記入ください。

**設問1** 該当するものを1つ選んで、その番号をお答えください。

(1) 職種

①学級担任 ②教科担任 ③家庭科専科 ④非常勤講師 ⑤その他

(2) 性別

①男 ②女

(3) 経験年数について該当の数字をお答えください

①5年未満 ②5～10年 ③10～15年 ④15～20年 ⑤20年以上




**設問2** 令和4年度の学習指導について、お答えください。

(1) 家庭科の学習では、次の指導をどの程度行っていますか。該当欄に○印をつけてください。

|                        | ①行っている | ②どちらかといえば行っている | ③どちらかといえば行っていない | ④行っていない |
|------------------------|--------|----------------|-----------------|---------|
| ア 主体的・対話的で深い学びの場の設定    |        |                |                 |         |
| イ 問題解決的な学習             |        |                |                 |         |
| ウ 言語活動を充実させた指導         |        |                |                 |         |
| エ 情報通信ネットワークの活用        |        |                |                 |         |
| オ 実践的・体験的な活動を充実させた指導   |        |                |                 |         |
| カ 個に応じた指導              |        |                |                 |         |
| キ ペアやグループ活動の場の設定       |        |                |                 |         |
| ク 家庭・地域との連携を図った指導      |        |                |                 |         |
| ケ 健康・安全・快適に留意した指導      |        |                |                 |         |
| コ 自立した消費者の育成を目指した指導    |        |                |                 |         |
| サ 食物アレルギーに配慮した指導       |        |                |                 |         |
| シ 家庭科を通した食育教育の推進       |        |                |                 |         |
| ス 中学校との系統性に配慮した内容・題材構成 |        |                |                 |         |
| セ 持続可能な社会の構築を目指した指導    |        |                |                 |         |

**設問3**

(1) 年間の指導を通して苦慮された点がありますか。

難しいと感じられたものを下記より3つ以内で選んでください。

- |                      |                    |
|----------------------|--------------------|
| ①指導計画や題材構成の作成        | ②新学習指導要領に基づく適切な評価  |
| ③グループ活動等の対話的な学習の場の設定 | ④調理実習や観察、実験などの活動の場 |
| ⑤タブレット等の効果的な活用の仕方    | ⑥家庭や地域との連携の仕方      |
| ⑦学習指導要領の理解           | ⑧個別指導への対応          |
| ⑨その他                 |                    |




(2) 上記の課題を解決するためにはどんなことが必要ですか。

あなたの考えに近いものを下記から2つ以内で選んでください。

- |                   |                 |
|-------------------|-----------------|
| ①家庭科指導法の研修の場      | ②指導補助のための人的配置   |
| ③家庭科の最新の情報・資料     | ④ICT活用等の校内研修の充実 |
| ⑤地域を中心とした研究会組織の充実 | ⑥家庭や地域との連携の仕方   |
| ⑦教科担任制の導入         | ⑧指導教材・教具の充実     |
| ⑨その他              |                 |

設問4 家庭科の学習は児童の今の生活に役立っていると思いますか。

- ①とても役立つ ②わりと役立つ ③あまり役にたたない ④全く役に立たない

☐

設問5 家庭科の学習は児童の将来の生活に役立つと思いますか。

- ①とても役立つ ②わりと役立つ ③あまり役にたたない ④全く役に立たない

☐

### 調査Ⅲ 令和5年度 家庭科の指導状況に関する調査【教師用】

令和2年度より新学習指導要領による指導が完全実施となりました。必須となった項目や新設となった点を中心にお聞きます。

設問1 新学習指導要領での家庭科学習における学習の効果や定着の状況についてお聞きます。

(1) 内容A(1)のアについては、ガイダンスとして第5学年の最初に履修することになっていますが、どのような学びの効果が得られましたか。最も効果があったもの1つ選んでください。

- ① これまでの自分の成長が多くの人々に支えられていることに気付くことができた。  
② 2年間の学習の見通しをもつことができた。  
③ 中学校技術・家庭科との円滑な連携を意識することができた。  
④ 総合的な学習の時間の学習や第4学年までの学習を生かすことができた。

☐

(2) 内容A(4)「家族・家庭生活についての課題と実践」では、他の内容と関連させ2学年間で一つ又は二つの課題を設定し履修することとなっています。どのような関連を図り課題を設定しましたか。1つ選んでください。

- ① 「A 家族・家庭生活」の(2)と関連を図り課題を設定した  
② 「A 家族・家庭生活」の(3)と関連を図り課題を設定した  
③ 「B 衣食住の生活」の(衣)と関連を図り課題を設定した  
④ 「B 衣食住の生活」の(食)と関連を図り課題を設定した  
⑤ 「B 衣食住の生活」の(住)と関連を図り課題を設定した  
⑥ 「C 消費生活・環境」と関連を図り課題を設定した  
⑦ 上記の2つを組み合わせ課題を設定した

☐

(3) 社会の変化に対応した内容の見直しの中に「幼児又は低学年の児童、高齢者などの異なる世代の人々とのかかわりについて扱うこととなっています。どのようなかかわりが深められましたか。1つ選んでください。

- ① 幼児又は低学年の児童、高齢者などすべての世代と関わる学習ができた。  
② 幼児とのみ関わる学習ができた。  
③ 校内で低学年の児童とだけ関わる学習ができた。  
④ 地域行事等で高齢者と関わる学習ができた。  
⑤ すべての世代とのかかわりをもつ学習ができなかった。  
⑥ コロナ禍において学びの場を設定することができなかった。

☐

(4) 調理や製作において一部の題材指定がなされていますが、指導する上でどのような成果が得られましたか。

(ア) ゆでる調理において、材料を青葉とじゃがいもを扱うこと(複数回答可)

- ① 目的に応じたゆで方があることを正しく理解することができた。  
② 題材が指定されていることで、教材の選択など適切に行うことができた。  
③ 児童が、「ゆでる」という加熱調理について実感をもって習得することができた。  
④ 児童が学んだことを自己の日常生活に生かしやすくなった。  
⑤ コロナ禍において学びの場を設定することができなかった。

☐

(イ) 生活を豊かにするために布を用いた製作において、物を入れる袋の製作を扱うこと。  
(複数回答可)

- ① 物を入れるためのゆとりや縫い代の必要性などを理解することができた。
- ② 題材が指定されていることで、教材の選択など適切に行うことができた。
- ③ 児童が製作した物を日常生活で活用しようとする楽しみを味わうことができた。
- ④ 児童が製作活動に意欲をもって取り組むことができるようになった。
- ⑤ コロナ禍においての学びの場を設定することができなかった。

☐

(5) 買い物の仕組みや消費者の役割について学ぶことは、児童の消費行動を考えるきっかけになりましたか。1つ選んでください。

- ① 自己の消費行動をふり返り、日常生活に生かそうとする意欲が高まった。
- ② 自己の消費生活をふり返るきっかけとなった。
- ③ あまりなっていない。
- ④ ほとんどなっていない。
- ⑤ コロナ禍において学びの場を設定することができなかった。

☐

(6) 家庭科で持続可能な社会の構築について学ぶことで、児童は自己の家庭生活の中から生活の課題について気付くことにつながりましたか。1つ選んでください。

- ① 自己の生活を持続可能な社会の構築の視点からふり返り、課題に気付くことにつながった。
- ② 自己の生活を持続可能な社会の構築の視点からふり返ることができた。
- ③ あまりなっていない。
- ④ ほとんどなっていない。

☐

(7) 小・中学校及びの各内容の系統性が明確化され、小・中学校ともにA～Cの同じ内容となり、各内容及び項目の指導が系統的に行えるようになっていきます。

そのことで児童の学習に円滑なつながりが図れるようになりましたか。1つ選んでください。

- ① 学習の系統性を意識し、効果的なつながりが図れるようになった。
- ② 学習の系統性を意識した指導が行えている。
- ③ 系統性をあまり意識できていない。
- ④ ほとんど意識できなかった。

☐

## 調査Ⅳ 令和5年度 家庭科室の状況と教材の整備等に関する調査【教師用】

設問1 家庭科室についてお答えください。

(1) あなたの勤務校には、家庭科室がありますか。

- ①家庭科専用の教室がある      ②家庭科と他教科等との共用教室がある      ③ない

☐

(2) (1)で「①」と答えた方はお答えください。

① 学校の家庭科室は、いくつありますか。

- ①教室が1つ                      ②教室が1つと準備室                      ③教室が2つ
- ④教室が2つと準備室                      ⑤その他

☐

② 家庭科の授業を実施する観点から、課題はありますか。

- ① ある                      ② ない

☐

③ 上記②で「①」と答えた方におたずねします。どこに課題がありますか。

(複数回答可)

- ①調理関係の設備                      ②被服関係の設備                      ③ 設備等の配置
- ④水回り                      ⑤その他

☐☐

**設問2** 学習指導要領の下、家庭科指導を進める際の教材整備の状況について①～④の記号でお答えください。

|               |               |
|---------------|---------------|
| ① 十分整備されている   | ② ある程度整備されている |
| ③ あまり整備されていない | ④ 全く整備されていない  |

- ア 教師専用のタブレット
- イ 家庭科室専用の大型テレビ
- ウ 実物投影機、資料提示機等
- エ デジタル教科書
- オ 実習、実技に役立つ動画教材
- カ 献立作成等に活用できるソフト教材
- キ 買い物シミュレーションができるソフト教材
- ク アイロン、アイロン台、洗濯機などの衣服手入れ教材
- ケ ミシン及び付属品、裁縫用具などの衣服製作教材
- コ コンロ、炊事用具、食器などの調理用具
- サ 電子オーブンレンジ、ホットプレートなど
- シ 実習室の採光、換気など環境設備
- ス 固定されている調理台やガスコンロ
- セ 熱源や電源の数

回答欄

| 項目 | ア | イ | ウ | エ | オ | カ | キ | ク | ケ | コ | サ | シ | ス | セ |
|----|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| 番号 |   |   |   |   |   |   |   |   |   |   |   |   |   |   |

＊ご協力ありがとうございました。